

新明小だより

学校教育目標 やさしく・かしこく・元気よく

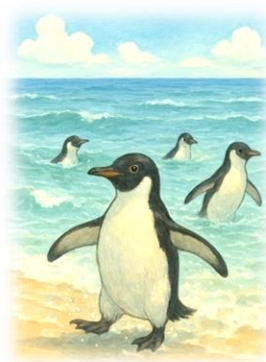
～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

東松山市立新明小学校
学 校 だ よ り
1 1 月 号
令和 7 年 1 1 月 1 日



秋も深まり、木々の色づきがいつそう鮮やかになってきました。子供たちは、学習にも行事にも意欲的に取り組み、成長の姿を見せています。実りの秋にふさわしく、一人一人の頑張りが光る毎日です。

勇気の物語 ～ファーストペンギン～ (11月のお話集会より)



オーストラリアのメルボルン日本人学校で勤務していたころ、家族4人で3年間、メルボルンの街で暮らしました。息子は当時小学1年生、娘は幼稚園に通っていました。異国での生活は、最初は不安もありましたが、家族で協力しながら一步步新しい環境に慣れていきました。思えば、あの3年間は、私たち家族にとって「勇気を出して踏み出すこと」の大切さを学んだ日々だったように思います。週末には、自然あふれる公園や海辺へ出かけることも多く、なかでもフィリップアイランドで見た「ペンギンパレード」は今も心に残る体験です。

夕方になると、海の向こうから小さなペンギンたちが、ヨチヨチと歩いて浜に上がってきます。その姿は本当にかわいらしく、見ている人たちから思わず拍手と歓声があがります。

その中で、最初に海から上がってくる1羽を「ファーストペンギン」と呼ぶそうです。天敵がいなかを確認するため、仲間よりも先に勇気を出して浜に上がるペンギン。そのあとを見て、次々と他のペンギンたちも安心して続いていきます。

小さな体で最初の一步を踏み出すその姿に、私は強い感動を覚えました。そこには、仲間を思う気持ちと、恐れを乗り越える“勇気の物語”がありました。

学校でも、同じような場面があります。授業で最初に手を挙げて発表する子。運動会や行事で新しい役割に挑戦する子。最初の一步を踏み出すその勇気が、まわりの友だちの背中を押し、「自分もやってみよう」という気持ちを広げていきます。うまくいかないことがあっても、挑戦する姿そのものが素晴らしいのです。

私たち大人もまた、子どもたちのそんな姿から多くを学びます。大切なのは、失敗を恐れずに一步を踏み出すこと。そして、その一步を温かく見守り、励まし合うことです。

これからも、本校が「ファーストペンギン」のように勇気を持って挑戦する子どもたちであふれる学校でありたいと思います。

私自身も、あの海辺のペンギンたちを思い出しながら、子どもたちと共に新しい“勇気の物語”をつくっていきます。

(校長室の窓より) サンサン体操 ～毎週月曜の朝を元気にスタート～

毎週月曜日の朝は、中庭（ポルテコ）で「サンサン体操」を行っています。6年生の児童が、

「週の始めを元気にスタートしたい」と発案し、楽しい音楽に合わせて始めた活動です。5分間（8:10～8:15）の体操で、心も体もすっきり。学校全体が笑顔であふれます。全校児童のために考え、実行してくれている頼もしい6年生の姿が、ファーストペンギンに重なります。

